

岐阜県 商店街だより



第378号 2016.2.22 2月号



発行元

岐阜県商店街振興組合連合会

岐阜市藪田南5-14-53

TEL058-277-1107

県連

1/18(月)

商店街の起業支援事業 まちで自分の仕事をはじめる TALK SESSION

■主催：岐阜県商店街振興組合連合会

■後援：岐阜県・岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会・岐阜市商店街振興組合連合会

「まちで自分の仕事をはじめる TALK SESSION」の第1回が、1月18日の午後7時から、ロイヤルビル2階のさかだちブックスで開催されました。「いつかは自分で開業したい」という夢を叶えたい方が、岐阜市中心商店街で起業し、街の顔になるショップを営む店主から、創業のエピソード・苦労話等を、フランクに聞くことができる会です。

今回のゲストスピーカーは、A.L.C.cafeの川島祐里氏とティダティダの水野陽子氏でした。会場一杯の盛況振りで、30人を超す参加者がありました。



▲末永氏・川島氏・水野氏

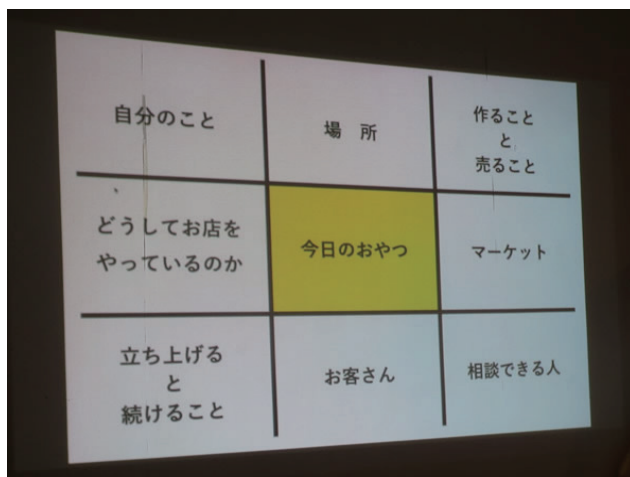
初めに、岐阜県商店街振興組合連合会の日比野理事長から「中心市街地の活性化に繋がる会に是非ともなればと期待しております。」という挨拶がありました。続いて、岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会の岡田副理事長からも、「今、柳ヶ瀬の商店街が変わりつつあります。一人でも仲間が増えることを期待

しています。」との挨拶がありました。



▲起業家の話に聞き入る参加者達

それから、ミユキデザインの末永貴裕氏と末永三樹氏の司会で、トークセッションがありました。A.L.C.cafeは、やながせ倉庫1階にある焼き菓子とチョコレートのお店で、2006年創業です。ティダティダは、ロイヤルビル1階にあるサターアンダーギー（沖縄のドーナツ）とかまぼ



▲キーワードパネル

自分のこと	場 所	作ること と 売ること
どうしてお店を やっているのか	今日のおやつ	マーケット
立ち上げると 続けること	お客さん	相談できる人

こおにぎりのお店で、2014年に開業されました。お二人共、お客様とのコミュニケーションの大切さを強調されました。そして、横の繋がり、お店とお店のコミュニケーションが大きな支えになるという話が印象的でした。

アドバイザーとして、十六銀行の田代達

生氏から、お二人に創業時の実際の資金や補助金申請の事業計画書の具体的な書き方等の質問がありました。インタビュー後の質問もたくさんあり、参加者の熱意が溢れていました。苦労話等、普段聞けない話を聞くことが出来、濃くて和やかな会となりました。

柳ヶ瀬

12/19(土)

ゆるキャラたちが柳ヶ瀬にやってきた ゆるクリ2015@YANAGASE

■主催：ゆるクリ2015実行委員会 ■運営：ひとひとの会 ■協力：ラデッキ株式会社

平成27年12月19日(土)の11時から、柳ヶ瀬商店街一帯で、ゆるクリ2015@YANAGASEが開催されました。2010年にスタートし、今回が6回目となります。全国から集まったゆるキャラがクリスマスを盛り上げました。それぞれのゆるキャラの地元、そして柳ヶ瀬商店街の活性化を目的とした中部地区最大規模のご当地キャライベントです。今年も、40体近いゆるキャラが大集合し、柳ヶ瀬は大変な熱気に包まれました。

高島屋前のわくわく広場、柳ヶ瀬本通り、レンガ通り、あい愛ステーションの4会場で、キャラクターPRステージ、キャラ対決のうでずもう大会、音楽ステージ、お笑いステージ等、楽しい企画が盛りだくさんでした。



▲子供達の元気いっぱいのダンス

ゆるキャラグランプリの上位入賞者がやってきました。2014年1位の「ぐんま

ちゃん」(群馬県)、2015年2位の「みきゃん」(愛媛県)、そして2015年グランプリの「出世大名家康くん」(静岡県浜松市)等です。遠く長崎県佐世保市から「さな・せな・ぼな」の参加もありました。県下では、「ミナモ」(岐阜県)、「もとまる」(本巣市)、「ゆずりん」(関市)、「ハコモ」(可児市)、「ららら」(各務原市)等が参加しました。ゆるキャラと握手をし、記念写真を撮る家族連れの微笑ましい姿が、柳ヶ瀬商店街のあちこちで見られました。



▲サンタ姿のミナモといが☆グリオ

ゆるクリと並行して、他にも様々なイベントがありました。子供達による「クリスマスかざり」の展示がありました。岐阜市内の幼稚園・保育園に通う子供達が、段ボールの板をキャンバスにして飾り付けました。約130

の作品が店先に展示されました。

「やながせ商店街でおかいものごっこ」もありました。あい愛ステーション前の特設「おかしやさん」で、「おもちゃのおかね」を使って「おかいもの」を楽しむという催しです。

「柳ぶら楽市」(毎月第1、第3土曜日開催)もありました。常連客も多いようで、地元の野菜や特産物を手にして、お店の方と気さくに話していました。

ゆるキャラとクリスマスの街を練り歩く「ゆるクリ」は、柳ヶ瀬の12月の風物詩のひとつとして、しっかり根付いていました。少し欲を言えば、「柳ぶら楽市」とのタイアップとして、例えば地元のゆるキャラに地元の特産物を売ってもらう等の工夫の余地がある

ように感じました。

【参考となるポイント】

- ゆるキャラと商店街のコラボ
- 年1回のイベントとして定着
- 共催のイベントとのタイアップ



▲柳ヶ瀬本通りの柳ぶら楽市

大垣市商店街振興組合連合会

(株)全国商店街支援センター

トータルプラン作成支援事業 フランづくりコース

大垣市商店街振興組合連合会では、(株)全国商店街支援センターの支援事業を活用して、平成27年7月～9月まで全3回で「ビジョンづくり」を、そして10月から「プランづくり」を全4回の予定で実施しています。10月20日(火)に第1回、11月12日(木)に第2回、そして第3回が1月22日(金)にあり、8名の参加がありました。会場



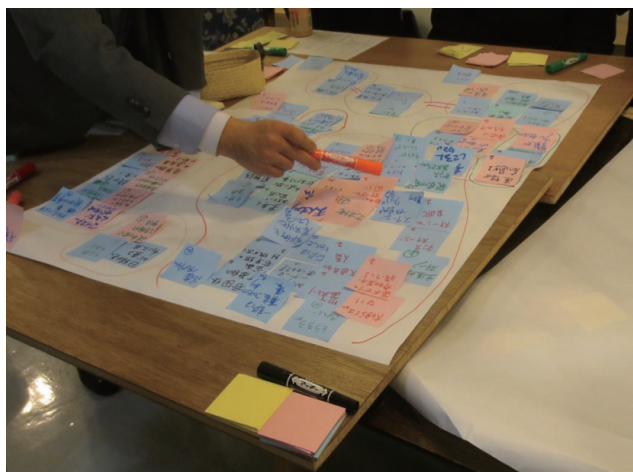
▲付箋紙を使った真剣なワークショップ

は郭町の「ちょいみせキッチン」で、(有)協働研究所の東朋治氏が講師です。

初めに、前回取り上げたご当地キャラクタープロジェクト「大垣きゅん物語」について、行き詰りの打開策を再度話し合いました。即効薬は無いことのコンセンサスと、「大垣商店街のキャラクター」として、もう一度考えてみようという真剣な意見が出ました。

今回は、もう一つのケーススタディーとして「水都まつり」を取り上げました。8月上旬に4日間に亘り開催され、七夕祭り、踊り大会、花火大会、万灯流し等が繰り広げられる大垣の夏の一大イベントです。恒例の行事と商店街の活性化について考えました。

3色の付箋紙を使ったワークショップを今回も行いました。青い紙に、強みやチャンスを書き、赤い紙に、弱みや課題を書きます。



▲青「強み・チャンス」、赤「弱み・課題」の島

続いて、黄色の付箋にやってみたい企画を記します。東講師から、方向付けのアドバイスがありました。「青を伸ばすことが大事

です。赤を青に変えるにはどうすればいいかを考えましょう。黄色はできない理由ではなく、やる手立てを考えましょう。」ということでした。

第2段階として、プロファイリングの手法を使って、ターゲットを考えるワークショップをしました。誰を対象としたイベントなのかを、性別、年齢、住所、独身・既婚、兄弟・姉妹の有無等、細かく想定することで、何をすべきかが自ずと見えてきます。伝統のイベントの未来希望図がより鮮明になってきました。

次回は、プランづくりの最終まとめで、2月26日（金）の予定です。

垂井町東商店連盟

(株)全国商店街支援センター

繁盛店づくり支援事業

不破郡垂井町の東商店連盟が、(株)全国商店街支援センターの「繁盛店づくり支援事業」を実施中です。専門家の指導の下、「全体研修」「臨店研修」「参加者会議」「通信指導」を行い、ノウハウを具体的に学んでいます。

昨年10月に始まり、11月に第2回、12月に第3回がありました。そして、1月12日(火)に第4回がありました。

講師は、ランドブレイン(株)事務局の水井澄人(みずいすみよ)氏です。

午後1時から、4回目の臨店研修がありました。臨店研修とは、実際にお店に臨んで研修の成果を発表するものです。垂井町東商店

連盟の「(有)銘菓処みどりや」「大衆居酒屋どん」「河野寝具店」「(有)栄クリーニング」の4店が研修しました。今回は、公開臨店研修ツアーで、15名程の参加があり、ぎふチャンや中日新聞の取材もありました。



▲水井講師の手振りを交えた講義

「みどりや」では、指導を受けて作った立て看板や店内を見やすくしたガラス張りの外装が紹介されました。「どん」では、「もちもち」や「シャキシャキ」といったしずる感(生き生きとした表現や活動を指すキーワード)溢れる言葉を添えた手作りPOPや、オリジナルラベルを付けた焼酎を作り



▲4店舗が「臨店研修」の感想と今後について発表

ました。「河野寝具店」でも、筆文字のPOPを作成しました。「栄クリーニング」では、しみ抜き作業が店の外から見えるようにしました。

午後7時から、参加店会議を開きました。4店舗の代表者の方が、一人ずつ研修の感想や今後に向けた思いを発表しました。

みどりやの原さんにお話をお伺いすると、「本当にやってよかったです。講師の水井さ

んは、26年間の百貨店での経験を活かし、とても褒め上手で、ますますやる気が出てきました。」とのことでした。

2月1日には、最終報告会を行いました。パワーポイントを使った分かりやすい発表で、各店舗の成果の詳細については、次回の「商店街だより」にて報告します。

【取材・記事 中小企業診断士 古賀大助】

中小企業・小規模事業者関係 予算・税制改正のポイント

ものづくり・サービス新展開支援補助金

1020.5億円<平成27年度補正>

●試作品やサービスの開発、生産工程の改善のための設備投資を支援します。

①機械設備の取得費用などを補助します。

1件あたり1,000万円上限

(補助率：2/3)

②複数の事業者が共同して取り組む場合は、補助上限額を上げます。

最大5社までの共同体で、1事業者あたり

1,000万円上限

(補助率：2/3)

③設備投資を伴わない小規模な額での取組みも補助します。

1件あたり500万円上限

(補助率：2/3)

④大幅な生産性向上に取り組む場合は、補助上限額を上げます。

1件あたり3,000万円上限

(補助率：2/3)

<窓口>

全国中小企業団体中央会及び都道府県中小企業団体中央会

小規模事業者支援パッケージ事業

100.0億円<平成27年度補正>

●小規模事業者が、商工会・商工会議所と一体となって実施する販路開拓の取組を支

援します(持続化補助金)。

1件あたり50万円上限

(補助率：2/3)

●具体的には、販路開拓用のチラシ作成、商品パッケージ制作、集客力を高めるための設備導入などの費用を補助します。

●雇用者の増加や買物弱者対策、海外展開に取り組む場合、1件あたりの上限額が100万円となります。

<窓口>

各地の商工会、商工会議所

中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業

59.7億円

<平成27年度補正、平成28年度当初>

●中小企業・小規模事業者が抱える販路拡大、経営革新、資金繰りなどの様々な経営課題について、全国のよろず支援拠点で相談を受けることができます。

●経営診断や技能指導等の専門家の派遣を受け、3回まで無料でアドバイスを受けることができます。

地域・まちなか商業活性化支援事業

30.3億円

<平成27年度補正・平成28年度当初>

●商店街や中心市街地において、商業施設等

の整備、買物弱者サービスや子育て・高齢者支援サービスの提供、外国人観光客の消費取り込みなどの取組を支援します。

(補助率：2/3、1/2)

<窓口>

各経済産業局等

消費税軽減税率対策予算

995.8億円<平成27年度予備費>

170.0億円<平成27年度補正>

●消費税軽減税率制度の導入に伴い、複数税率に対応した区分経理等を行う必要のある事業者に対して支援を行います。

①複数税率に対応するための新たなレジ

の導入を支援します。

1件あたり20万円

(補助率：2/3 ※3万円未満のレジ購入の場合は3/4)

②複数税率に対応するための受発注システムの改修を支援します。

1件あたり1,000万円

(補助率：2/3)(小売事業者)

1件あたり150万円

(補助率：2/3)(卸売り事業者等)

●また、中小企業団体等を通じて、制度の周知や窓口相談対応等を行い、消費税軽減税率制度の円滑な実施に向けて、きめ細かい支援を行います。

■平成26年度補正消費税転嫁対策窓口相談等事業■

岐阜まちなか活性化とインバウンドを考える

日時：平成28年2月25日(木) 13:30～16:00

場所：岐阜商工会議所2階大ホール(岐阜市神田町2-2)

内容：基調講演 13:45～15:15

「日本と地球を変える観光立国革命」

講師：株式会社ジャパンインバウンドソリューションズ

代表取締役社長 中村好明氏

トークセッション 15:15～15:45

パネラー：株式会社ジャパンインバウンドソリューションズ

代表取締役社長 中村好明氏

JISSEN.CO

代表 古田篤司氏

岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会

理事長 林 亨一氏

定員：200名(申込者優先・定員になり次第締切)

参加費：無料

申込先：岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会へ申込

TEL:058-262-6261

主催：岐阜県商店街振興組合連合会

TEL:058-277-1107

後援：岐阜市/岐阜商工会議所/岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会/

岐阜市商店街振興組合連合会

岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。